学校番号 C2101　桃谷（通）　　令和2年度 国語科

| 科目名 ： | 国語演習 | 単位数 ： 4 単位 | 必要スクーリング出席回数： 4 回 |
|---|---|---|---|
| 使用教科書 ：なし | | | |
| 学習書 ・副読本 ：クリアカラー国語便覧 （数研出版） | | | |

| | 年間総数 | １範囲 | ２範囲 | ３範囲 |
|---|---|---|---|---|
| レ ポ ー ト [R] | 12 枚 | 4 枚 | 4 枚 | 4 枚 |
| ス ク ー リ ン グ [S] | 16 回 | 6 回 | 5 回 | 5 回 |
| テ ス ト [T] | 2 回 | ○ | なし | ○ |
| その他 （課題・実習等） | | | | |

「国語総合」「現代文Ｂ」「古典Ｂ」等の学習を受けて展開します。奈良時代から近現代までの幅広い作品を多角的に講読・鑑賞します。また、「漢字」「慣用的表現」についても理解を深めてゆきます。

幅広い文学作品を多角的に講読･鑑賞し、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、日本文学に対する理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b ：話す・聞く能力 | c ：書く能力 | d ：読む能力 | e：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 学習書・副読本を用いて自学自習に取り組むとともに、言語文化や伝統に対する関心を深め、文学作品に親しもうとする。 | | | 文学作品を通して表現された思想や感情を適切に読み取り、生活や人生について考え、文学作品に親しむ。 | 日本の言語文化の歴史、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ・記述の点検（レポート） | | | ・記述の確認及び分析（レポート） | ・記述の確認及び分析（レポート）<br>・定期考査 |

・学年末に５段階で評価する。

## 4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 a | b | c | d | e | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1範囲 | 上代から中古の日本文学史 | 1 古文常識<br>2 上代の文学<br>3 中古の文学<br>4 対義語・四字熟語 | ○ | | | ○ | ○ | a:学習書・副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出している。<br>d:教科書や資料を参考にして作品を読み取り、生活や人生について考えることができる。<br>e:上代から中古の文学の流れや漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | ・レポート<br>・定期試験 |
| 2範囲 | 中世から近世の日本文学史 | 1 中世の文学<br>2 近世の文学<br>3 三字熟語<br>四字熟語 | ○ | | | ○ | ○ | a:学習書・副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出している。<br>d:教科書や資料を参考にして作品を読み取り、生活や人生について考えることができる。<br>e:中世から近世の文学の流れや漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | ・レポート |
| 3範囲 | 近現代の日本文学史 | 1 近現代の文学<br>2 漢字の読みと意味<br>3 ことわざ・慣用句<br>4 一年間の学習のまとめ | ○ | | | ○ | ○ | a:学習書・副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出している。<br>d:教科書や資料を参考にして作品を読み取り、生活や人生について考えることができる。<br>e:近現代の文学の流れや漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | ・レポート<br>・定期試験 |